

**Pick Up News** ゴールデンウィークを終え、大学・学科にも活気が戻って来ました。緊張感あふれる面持ちだった1年生も、大学生活にも慣れてきて、リラックスした表情が見られるようになりました。各授業も回数を重ねて軌道に乗ってきたところですが、容赦ない課題の嵐に四苦八苦している学生も少なくないようです。設計、演習、講義、それぞれで課題が出されます。一つひとつをこなしていくことで力がついていきます。これらの課題をこなして乗り越えた先に、自信がつかえます。そして間違いのない知識が蓄積されていきます。建築技術者として必要な知識や技術を妥協することなく教え込む。これが本学建築学科の教育方針です。日々の苦勞が報われる日が必ず来ます。目の前にあることを着実にこなしていきましょう！設計、CADの個別学習支援(教学アドバイザー)もはじまります。大いに活用して下さい。



1年生 建築ワークショップ優秀者表彰(2017/04/28)



2年生 建築材料実験 I の様子



3年生 建築プロフェッショナル論(2017/05/09)

3年生前期開講の「建築プロフェッショナル論」はオムニバス形式で、毎回異なる講師による講義です。建築の各界・各職種で活躍する本学科卒業の先輩14人による「プロ」の話。進路検討に入る3年生によっては大変人気の講義です。



1年生 建築入門 大学院生による質問相談(2017/05/19)



4年生 建築設計デザインII 中間発表(2017/05/15)



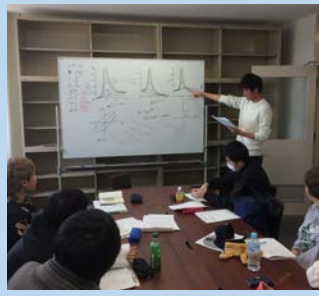
建築CAD室

空き時間 課題に取り組む学生(2017/05/22)



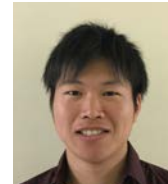
石巻の中学生による大学・学科訪問(2017/04/27)

**Pick Up Lab.** 今年度の船木研究室は、大学院生1名と10名の4年生で活動を開始しました。本研究室は、地震時における建物の安全性を確保するための新しい制振機構の開発の中心に取り組んでいます。その他、津波の力が建物に及ぼす力の評価や、新しい木造架構の開発、天井などを建物に取り付けるために用いるアンカーの性能評価など、その活動は多岐にわたっています。研究活動は苦勞も多いですが、自らの手によって得られた新しい真実の発見が大きな感動を引き起こし、それが皆さんの将来の素晴らしい礎となると考えています。研究室の皆さんには、積極的に研究に携わり、新たな発見をして欲しいと願っています。



3年 後藤 春希さん  
大曲高校 秋田 出身

**Pick Up Student** 工大建築学科には新しいことに挑戦する時に取り組みやすい環境があります。少しでもやってみよう！と思う気持ちがあれば行動に移すことができます。積極的な友人が多いことも後押しとなります。昨年度は友人とともに「失われた街プロジェクト」への参加、設計事務所でのオープンデスク、学内住宅コンペ、宅建試験に挑戦など自主的な活動に励んだ1年でした。社会で活躍している様々な立場の方とお話する機会がありました。社会人で必要とされる力を身にしてみたいと感じ、焦りと同時に今やるべきことや目標も見つかりました。設計の授業やサークル活動を通してコミュニケーションの力をつけていきたいと思っています。友人と友に過ごす時間がとても楽しく充実しています。残り2年実りある日々を過ごしたいです。



1年 鈴木 拓真くん  
東陵高校 宮城 出身

**Pick Up Student** 建築学科に入学してから約1ヶ月が経ちました。私の在学していた高校では建築科がなかったので初めは建築についてどのように学ぶのか、ワクワクしている部分と不安な部分がありました。そんな中、入学してから印象に残っているのがガイダンス期間で行ったワークショップです。私のグループは建物の構造についてまとめました。ワークショップでは仙台の建物について深く学ぶことができました。わからないことがあればグループの先輩が丁寧に教えてくれてとてもためになったと思います。そんな私の目標は一級建築士を取得し、建物に関わる仕事に就職することです。その目標を達成するために、日々頑張っていることは自宅学習です。課題はもちろんですが、講義の予習・復習も欠かせません。これを継続して4年間で卒業できるよう建築に向き合っていきたいと思っています。